

事例概要2（記載例）

（困難事例でなく通常の事例で可）

受講番号

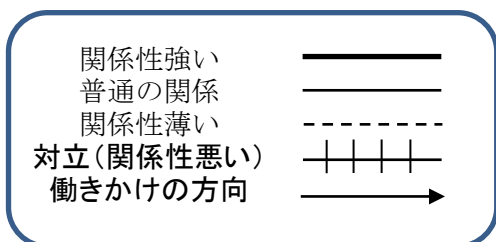
受講者氏名

事例のタイトル		この事例を端的に表すタイトルをつけてください。 例：仕事をしながら母親の介護を献身的に行っている事例	
出会い ～	利用者状況（相談経路・当時の状況等）		ケアマネジャーとして考えたこと
	<p>※利用者との出会いまでのご本人の背景・生活状況、そして出会ったときの生活状況を記入してください。</p> <p>例：地域包括支援センター〇〇からの紹介で、脳出血による右麻痺を患ったAさん(女性)要介護3を担当をする事となる。家族はご本人と長男の2人暮らしであり、長男には今まで介護の経験はなく、これからの介護について相談したいという状況であった。家事は長男が行うが調理経験に乏しく、かなりの負担になっていると話していた。長男は毎朝7時には出勤し、帰宅は20時とのことである。</p>		<p>※利用者とお会った時のケアマネジャーの想いについて簡潔に記載してください。</p> <p>例：核家族世帯であり、長男様がほぼすべての介護を担う事になっている状況であり、介護経験や家事経験も乏しくどれくらいの介護ができるのか？また、長男様が仕事が忙しい為にどれだけ関わられるのか？介護に対する想いについてもきちんと確認する必要があると考えられた。</p>
ケアマネ ジメン ト開 始時	日にち	私たちが関わり、利用者・家族等どのように変化していったのか？ 過去⇒現在の順に主要なものを記入	支援ポイント（左記事項に対応して） 自分が利用者・家族を支援したポイントを簡潔に書く
	4月10日	初回訪問、長男様も午前中仕事を休んで同席。平日は仕事で時には出張もある。また自治会の会計の仕事もあり大変である。介護について全くイメージがつかない。不安であるとのこと。ご本人は一人で大丈夫だと話す。	→初回訪問を行う。長男様の同席でアセスメントを行う。介護についての考え方や今後のAさんについて意向を伺う。
	4月16日	長男様は自宅で介護の意向あり、ご本人も家に居たいとの事である。介護は初めてだし、母親には世話になったので絶対に家で介護したい。	→これを受けていくつか方法について提案し、今回は週3回の通所介護の利用となる。家事は仕事前と帰宅後に行う、通院も介護者が休暇で対応するとのことになる。不安な事があれば連絡をするように助言した。
	8月20日	週3回の通所介護利用でAさんは楽しみができ、自分で行える事を増やしたいという意欲も見られ入浴に対する介護者の負担は軽減、しかし家事や通院が負担とのこと。でも家で私が見なければと長男は話す。	→訪問介護や通院介助についても提案をした。一生懸命に介護をするあまり、時々大きな声もだすこともあるとの話がきかれた。
	9月10日	Aさんは自分なりにやっているとのこと。通院は、長男が休暇をとり行うが会社には介護の話はしていない。休暇も限界がある。家事については家に他人が入るのは抵抗がある。日中の様子も不安であり今後の事を考えると早期退職して介護することも考えていると話す。	→通院介助の利用も可能なことや、介護休暇等の方法が使えるかを確認すると良いことを提案した。また、親類等の援助についても確認した。色々あり、いないことはないが甘えられる身内はいないとのことであった。
現在	10月15日	介護休暇等は未だ確認していない。家事のことや今後の介護を考えるとねえ・・・と長男は話した。	
この事例全体を通して	<p>（ケアマネジメンの各プロセス時において気づいたこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしながら介護をしている核家族を支えていくのは介護保険だけは限界がある。 ・サービスを提案しても、それぞれの価値観により家の中に他の専門職が入る事に抵抗があるとされると支援への限界が感じられた。 ・ご本人へのアセスメントは的確に行っていたと思うが、親類の把握や地域とのかかわりについては中々把握できなかった。 		
	<p>（中々上手くいかなかった、苦労した事等助言をもらいたい事を簡潔に書いてください 2つ以内）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護のために離職の話もあるがどのように支援を考えればよいか 2 家事負担の軽減についてはどう支援すればよいか 		

現状のエコマップを書いてください。

強い関係 (thick solid line)
 普通の関係 (thin solid line)
 弱い関係 (dashed line)
 対立関係 (thick dashed line)

エコマップの書き方には、複雑なものから簡易なものまで、色々なものがあります。しかし、そうしたものの全てを覚えたりする必要はありません。とにかく大事なのは、要介護者との関係性を(1)強い関係(2)普通の関係(3)弱い関係(4)対立関係、という具合に分けて書くことです。
 エコマップで注意したいのは、エコマップは、その作成ではなくて、作成した後が重要ということです。初めて描く方が多い訳ですから、上手に描けていなくても問題ありません。大事なのは、作成したエコマップから「居宅介護支援をよりよいものにするために、なにをすべきか」を考えることです。



エコマップを記入して利用者さんの状況で気づいたこと